

わたしのおねえちゃん

桜木小・1 やまざき あやか

わたしには、おねえちゃんが二人います。上のおねえちゃんはいこ、下のおねえちゃんはおりといいいます。わたしは、いつもおねえちゃんたちとけんかします。ジュースをわけるとき、じぶんのぶんをおくするからです。わたしがなにかをしていると、よこ入りをして、わたしのじやまをしてるのがゆるせません。でも、おねえちゃんはわたしがきらいなものをたべてくれたり、すきなものをくれたりします。おねえちゃんともだちとあそんでいるときに、わたしをまぜてくれるところはいいところです。

あいこが、なつ休みに手の手じゅつをすることになりました。あいこが、一しゅうかんいません。わたしは、手じゅつをするときいたとき、びつくりして、こわいっておもいました。かいものにいったとき、あいこが小さいシヤンプーのセットをかってもらって、いなあとおもいました。バスタオルやふくを大きなかばんに入れていたのを見て、もういつちやうんだな、ときびしくなりました。おかあさんも、いなくなるから、ねむれるかしんぱいだったけど、がまんしました。

あいこが出ばつをするとき、ぎゅつとしておわかれをしました。しおりがないので、わたしもなきそうでした。そのあと、おじいちゃんたちといっしょに、おはかまいりに出かけました。おひるのごはんはおいしかったけど、いつも三人そろってごはんをたべてい

るから、あいこをおもい出しました。

「あいこはいまなにをしているんだらう。」

としおりがいったので、とてもさびしくなりました。

よる、おばあちゃんのへやにふとんをしいて、しおりといっしょにねました。しおりがいてくれて、よかったとおもいました。

つぎの日、おかあさんからしゃんがときました。あいこは、ねつが出ていてつらそうです。右手はほうたいでぐるぐるまきで、ドラえもんみたいでした。左手は、てんてきをしていました。手じゅつで、あさからごはんをたべていないときいて、かわいそうでした。おかあさんが、

「ぶじにおわったからだいじょうぶだよ。」

といいました。しおりと

「よかったね。」

といいました。はやくげん気になってほしいと思いました。

四日したら、あいこがかえってきました。すぐうれしくて、げんかんまでむかえにいって、ぎゅつとしました。ごはんをたべていても、にぎやかでした。わたしは、あいこがおふろでかみのけをあらう手つだいをしました。たのしくて、あいことわらいながらしました。右手がつかえなくて大へんそうだけど、やくに立ててよかったです。

おねえちゃんたちは、うるさいし、いやなこともしてきます。きらいなときもあるけど、いなしとさびしかったです。だから、本とうは、けんかをするのもたのしいです。